

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : University of Kent

留学期間 : 平成 28 年 4 月 14 日 ~ 平成 29 年 4 月 11 日

・留学中の生活

留学時期の都合や語学力が十分でなかったことから、4 月からのコースを選んだため、前半は語学コース、後半は学部聴講というスタイルでした。

語学コースでは大学院生を目指す人の中でアカデミック用の英語を学びました。エッセイ（小論文）の書き方、plagiarism（剽窃）など、有益なことを学べたと思います。基本的にアジア人が多く、イギリスに来たのに、とはじめはがっかりしましたがとてもいい機会だったと思います。アジア人であることに無意識にコンプレックスを抱いていた自分に気づくことができました。

後半は学部聴講という形で現地の学生に交じって政治の勉強をしました。EU の政治、紛争解決学、アメリカの政治、国際政治入門、イギリス政治などの授業を取りました。イギリスの大学の授業は日本のものと異なり、講義＋セミナー（少人数クラス）のセットで構成されています。講義は何とかこなせましたが、問題は少人数のセミナーでした。新入生レベルの科目は議論に入れるようになりましたが、上級生レベルの科目ではついていくのがやっと、という状態が長く続きました。ただ、難しい分面白かったとも言えます。2016 年は Brexit が起こり、アメリカ大統領選があり、とホットな年に日本国外で政治を学びとても刺激的な一年を過ごすことができたと思います。留学終盤になると授業にもついていけるようになったと思います。

海外で社会的マイノリティとして生活することもまたいい経験で、日本ではなかなかできないことだったと思います。グローバル化が進む中で、外見だけでは人のアイデンティティを見極めることは難しいということも気付くことができたのではと思います。人種的にマイノリティになることも日本ではまずありえなかったのも、それも視野が広がる経験の一つであったと思います。

・留学の成果

留学での成果は語学・価値観(視野)の変化の 2 つの言葉で表せるのではと考えています。まずは語学ですが、英語力がどれほど伸びたのか・・・ということはまだ資格試験を受けられていないので数字を用いて述べられません。しかし、リスニング、会話に関しては力がかなりついたのではと思っています。

また、留学で得られることは語学だけではないと思います。価値観も変わるだろうし、人それぞれ、経験を通して得るものは多いと思います。私が留学で得たと思うことは度胸がつくこと、視野が広がること、国際社会に生きる感覚が少しでも身につくこと、です。

まず、日本にいと失敗を恐れがちですが、海外に出て沢山失敗をすることで「なんでもやってみる」という姿勢が身についたのではと思います。例えば、私はイギリスで、クレームを入れまくりました。バスのチケットの返金、大学のアコモデーションの部屋の変更(日本人と同じ家に入れられそうになりました)など、積極的

に意見を言うようにしました。度胸・粘り強さもついたと思います。

加えて、日本から一度出てみることで、物の見方が変わったと思います。私は、世の中にはいろんな人がいるのだということを感じました。日本にいてもどうしても人と比較しがちになる自分にも気づきました。それは多国籍国家であるイギリスにいたからこそではないかと思います。特に大学は難民としてイギリスに来ている学生や、50歳を過ぎて初めて学士を取りに大学に来た学生など、十人十色な社会です。今まで社会にひかれた線路の上を走ってきた私にとっては驚きの連続でした。ゆえに物を見る視点が格段に広くなったと思います。海外で暮らすということは、日本との比較があつてこそだといつても過言ではないと思います。そして自分のいる環境を比較することは自分自身を見つめなおすきっかけになったと考えています。

さらに、他国籍に寛容なイギリスで一年間過ごした経験は、国際社会に生きる感覚が少しでも身につくきっかけになったのではと思います。（もしかするとかじった程度の理解かもしれません。）例えば、見た目でその人の国籍とアイデンティティを決めつけるのはナンセンスだと気付くことができたのは収穫だったと思います。簡単に聞こえますが、国籍とアイデンティティは紛争などの原因にもなっており、その見極めは意外と難しいのではと思います。

・成果をどう生かすか

これまでに述べた成果、語学・感覚は今後も生きる・活かせるのではと思います。これからどんどんグローバル化が進むであろう日本において、使える語学能力は必要だと思います。まだまだ勉強は必要ですが、社会の役に立つことができるのではと信じています。

将来は、社会に出て語学や経験をいかして働いた後に、最終的には教育に関わりたいいなと思っています。

・留学する人へのアドバイス

迷うなら、留学はしたほうが良いと思います。駅前留学だってあるじゃないかという意見も巷にはありますが、百聞は一見に如かず、行ってみないとわからないことも沢山あります。留学に行くことに対して、厳しい言葉を投げかける人も沢山いるかもしれませんが、自身の気持ちに正直に行動すればよいのではと思います。

留学が自身のキャリアに短期的・直接的な影響をあたえるのかといえば、人によりけりだと思います。しかし、経験としても留学は人生の財産になるのではと私は思います。

・留学をすると決めた方へ。

日本人との関わり方：私の周りにも日本人は一定量いました。個人の意見ですが、つかず離れずの距離感を保つのが一番良いのではと思います。毛嫌いするのも大人気ない気がしますし、いざというときに助けてくれたりするものです。

人として仲良くなりたいと思う人は国籍に関係なく積極的に声をかけるのが良いと思います。

友達づくり：限られた時間の中で、友達を作るというのは日本でも難しいですが、違う国の人とはなおさら難しいと思います。

日本に興味のある外国人と仲良くするのが一番手取り早いし、帰国後も交友関係が続きやすいのではと思います。

安全：留学中の安全はとても大事です。特に最近はテロも増えていますし、テロのみならず、性犯罪、

窃盗など日常の犯罪にも海外にいる間は特に注意を払う必要があると思います。私は日本から離れて、日本の安全さが異常なのではと思うようになりました。現在のヨーロッパではいつ何が起こってもおかしくないと感じました。地球上のどこであれ、「ここは日本ではない」という意識を忘れてほしくないなと思います。また、個人的な経験から、場所にかかわらず旅行に行く際には連絡手段を一つ以上は確保しておくべきだと思います。さらに日本大使館の場所や警察の電話番号ぐらいは調べてから旅に出ることをお勧めします。犯罪やテロ、危険はいっぱいです。テロは運の問題だという方もいますが、私は、ある一定のところまでは身の危険は防ぐことができと思っています。

グローバル奨学金に採用していただきありがとうございました。おかげで留学先でも様々なことにチャレンジすることができました。この一年間は一生の財産です。